

【活動のご報告】

「終活」について考える「人生会議 出前講座」

6月20日(土)、コミュニティ運営委員会主催にて『終活』について考える」と題して、尾北医師会「人生会議 出前講座」をおこないました。当日は雨天で、どちらかというとも気が重いテーマになるかと思うのですが、いつもより多い37名が参加されました。

最初に松田区長からあいさつがあり、今回の講座が一人一人にとって大事なテーマであること、多くの方に集まっていたことに感謝の想いを語られました。

つづいて導入として、映画「お終活」の特別映像「人生を楽しく生きていくための五箇条」(約6分)を上映しました。第二の人生の入り口に立った、高畑淳子と橋爪功の熟年夫婦を取り巻くコミカルなやり取りに、会場から噴き出す声があちこちから聞かれました。

そして、本番の「人生会議」です。尾北医師会のソーシャルワーカーの緒方さん、介護支援専門員の宮道さんに、バトンタッチしました。「人生会議」についてのクイズをしたり、電子紙芝居を観たり、カードゲームで自分が何を大事にしているのか確かめたり。隣の人とわいわい相談したりもしました。

年齢を重ねるにつれて、体調のこと人間関係のこと、さまざまな今後のことが不安になってきますが、具体的に動くことができる人は多くはありません。ただ「もしも」は突然やってきます。そのための備えとは「家族や大事な人とたくさん話をすること」というのが「人生会議」の要旨だと、私は感じました。家族でも、おたがいに知らないことはたくさんあります。第二の人生、どんな風に生きたいのか、何を大事にしたいのか、もしもの時にどんな選択を取るつもりでいるのか。100人いれば100通りの選択と理由があり、そしてそれは、話をしないことには自分以外が知ることはできません。そして第二の人生には、自分ひとりでは解決しないことがたくさんあるのです。

とはいえ、頻繁に家族と話ができる方ばかりではありません。そのための手段がいろいろあるという話もありました。

「人生会議」の後、少しだけですが井戸端会議をする時間が取れたので、久しぶりに会った方と話が盛り上がった方もいらっしゃったようです。

最後に、今回の行事は、尾北医師会の講師の方々、「人生会議」にお骨折りいただいた長寿ふくし課の方々、映画特別映像の上映許可をくださった(株)イオンエンターテイメントの方、参加のお声がけをくださった多くの方々、そしてもちろん、参加していただいた多くの方々のおかげで開催することができました。本当にありがとうございました。

文責・事務員 水野

